

シンポジウム「新グローバル化のなかの農業知財：SCM/DCMの
文脈化」の開催について

- 1 主 催：農学基礎委員会農業情報システム学分科会、日本農業気象
学会、生態工学会、農業情報学会、農業施設学会、農業機
械学会
- 2 後援（予定）：農林水産省、東京農工大学
- 3 日 時：平成19年9月13日（木）14：30～17：00
- 4 場 所：東京農工大学農学部講堂（府中市幸町3-5-8）
- 5 次 第：

開催趣旨

東西冷戦の2極構造から超大国1極構造によるグローバリゼーションへの転換は1990年代の特徴の一つであったが、2000年代に入り、アジアや南米の新たな経済ブロック形成の気運が高まり、「超大国＋多極化」の新グローバル化がはじまった。わが国の農業は、新グローバル化の中で、低価格の輸入圧力と消費者信頼の遵守圧力のみならず、優良な品種や系統の海外流出、技術やノウハウの海外流出など、知的財産の侵害圧力にも直面している。

そこで、日本農業再生と「農業知財」の保護にむけた新たな技術研究課題を模索するため、本シンポジウムを企画した。講演者には、知財戦略の政策担当者、食品流通の実務者、知財の法律専門家を招き、異業種分野横断の討論を通じて、農学分野と工学分野の融合による技術革新を担ってきた農業環境工学分野の特徴を活かした新学術分野創成の準備をするものである。

開会挨拶：澁澤 栄（東京農工大学教授、日本学術会議連携会員、農業情報システム学分科会委員）

司 会：後藤英司（千葉大学園芸学部教授、日本学術会議連携会員、農業情報システム学分科会幹事）

1) 第1部 講演

- ① 農林水産省知的財産担当参事官（予定）
「農林水産物の知財戦略」（仮題）
- ② 舘本勲武（デリカフーズ（株）代表取締役社長）
「医食同源をめざす食品流通」（仮題）
- ③ 正林真之（日本弁理士会副会長）
「地域農産物の商標とブランド」（仮題）

2) 第2部 パネル討論 「農業知財」保護の協働にむけて

司 会 澁澤 栄（東京農工大学教授、日本学術会議連携会員、農業情報システム学分科会委員）

パネリスト

- ① 農林水産省知的財産担当参事官（予定）
- ② 館本勲武（デリカフーズ（株）代表取締役社長）
- ③ 正林真之（日本弁理士会副会長）
- ④ 大下誠一（東京大学大学院農学生命科学研究科教授、日本学術会議連携会員、農業情報システム学分科会委員）
- ⑤ 新山陽子（京都大学大学院農学研究科教授、日本学術会議第二部会員、農業情報システム学分科会副委員長）

閉会挨拶：野口 伸（北海道大学大学院農学研究科教授、日本学術会議第二部会員、農業情報システム学分科会委員長）

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて必要事項（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

澁澤 栄

東京農工大学農学部

〒183-8509 府中市幸町3-5-8

Fax: 042-367-5762 Email: sshibu@cc.tuat.ac.jp

＊定員（300名）となり次第、締め切りとさせていただきます。